

## 質が高く効率的な医療の提供に向けた医療現場のデジタル化の推進

### ① 新たな生活様式に対応した新規事業等(新型コロナウイルス感染症対策新規・拡充事業)

適切な感染症対策のもとで質の高い医療サービスを安定的かつ継続的に提供するため、ICTを活用し、医療従事者及び患者等来院者や、連携する医療介護福祉関係者等の接触機会の低減など感染管理に対応しつつ、通常の診療業務等を効率的に行うためのシステム構築や環境整備をしようとするもの。

No.	提供するサービス	サービスの内容と効果
1	会議録作成支援システム	<p>◎委員会や会議の音声・録画データから自動でテキストデータ化することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会議録の文字起こし作業時間が削減される。</li> <li>・医療局の内部ネットワーク上に構築するので個人情報が含まれるカンファレンスや外部公開しない会議も、安全な環境でテキストデータ化することができる。</li> </ul> <p>【開始:令和3年2月～、対象:全病院・地域診療センター】</p>
	電子カルテ等のWebサービス利用	<p><u>電子カルテや部門システムでWeb接続を前提としたサービスをセキュリティ上安全に利用できる仕組みを構築するもの。</u></p> <p>※利用できるサービスやWeb接続先はセキュリティ上安全性を考慮し一部に限定する。</p> <p>【開始:令和3年3月～、対象:全病院・地域診療センター】</p>
	①Web会議	<p>◎電子カルテ端末や財務端末でZoomなどのWeb会議システムが利用できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・局内研修や院内外の会議・研修に柔軟に参加できる。</li> <li>・診療報酬の施設基準や算定に必要な外部医療機関等とのカンファレンスにWeb会議を利用できる。</li> <li>・診療応援先病院や患者自宅等とのオンライン診療にWeb会議を利用できる。</li> </ul>
2	②リモートワーク	<p>◎自宅等外部から専用端末で電子カルテ等の院内システムに接続し情報閲覧や入力などを行うことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感染拡大等により在宅勤務の導入や院内立ち入りが制限された場合でも業務の継続が可能となる。</li> <li>・出張や夜間呼び出しなどの時にも院外でデータを確認でき、迅速な対応が可能となる。</li> </ul>
	③Web上のサービス利用	<p>◎Web接続を前提としたサービスが利用できる。</p> <p>(例:AI問診等…No.3参照)</p>
	④リモート保守	<p>◎医療器械やシステムの保守業者がWeb接続経由でリモートによる保守や障害対応を行うことで、早期の障害復旧や保守料の減額が期待できる。</p>
	⑤特定のWebサイト閲覧	<p>◎「今日の治療指針」(有料)、「いわて医療情報ネット」など業務に必要な特定のWebサイトを電子カルテ端末上で閲覧できる。</p>

3	AI 問診 Ubie の試験導入	<p>◎専用 iPad でアプリケーションが設定する問診項目に患者が入力して回答する。</p> <p>◎主訴や症状に応じて AI が最適な質問を自動的に生成・聴取し、患者に応じた「広く」「深い」問診ができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・問診に係る医師、看護師等の対人接触機会と業務量が削減できる。</li> <li>・問診結果を電子カルテに貼り付け(手動)でき、カルテ入力業務を省力化できる。</li> <li>・問診時間が削減できる。(メーカー公表値 約 10 分→約 3 分)</li> </ul> <p style="text-align: right;">【開始:令和3年4月～、対象:胆沢・大船渡・宮古・磐井】</p>
4	患者用フリー Wi-Fi 環境整備	<p>◎感染拡大等による入院患者面会禁止措置下においても、患者がスマートフォンなどを利用し家族等とオンライン面会を実施できる。</p> <p style="text-align: right;">【開始:令和3年4月～、対象:全病院】</p>
5	自動入金機クレジットカード払い対応	<p>◎自動入金機でクレジットカード払いができるようになる。(外来医療費・入院医療費・未収金)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会計窓口での対人接触機会削減。</li> <li>・会計窓口の混雑緩和と自動入金機支払方法拡充による患者サービス向上。</li> </ul> <p style="text-align: right;">【開始:令和3年9月～、対象:自動入金機既導入 14 病院(全 45 台)】</p>
6	患者待ち時間通知機能	<p>◎診察順番が近づいた時に患者のスマートフォンにメッセージを通知することができる。</p> <p>※令和3年度当初予算案に、システム構築に要する経費を計上しているもの。</p> <p style="text-align: right;">【開始:令和3年10月～、対象:基幹病院等】</p>

## ② オンライン資格確認システム(マイナンバーカード健康保険証利用)

国が進める、マイナンバーカードを利用したオンラインによる健康保険証資格確認や特定健診情報・薬剤情報が閲覧できるシステムを構築しようとするもの。

◎オンラインで健康保険証の資格確認ができる。

◎特定健診情報や薬剤情報が閲覧できる。(令和3年10月～)

【開始:令和3年3月～、対象:全病院・地域診療センター】

## ③ 新たな勤務管理システム

働き方改革関連法に義務付けられたタイムカード等を用いた客観的な方法による労働時間の把握に対応し、職員の適切な労務管理と業務の効率化及び負担軽減を図るため、現行の出退勤時間記録システムに代わる新たな勤務管理システムを構築しようとするもの。

◎勤務管理機能：打刻管理、勤務時間乖離計算、時間外労働規制対応等

◎業務効率化及び負担軽減：超過勤務・年次有給休暇等の電子申請・電子決裁等(紙による決裁や手入力の軽減)

【開始:令和3年4月～、対象:全病院・地域診療センター】